

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1-13-38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号

機構 04 - 134

電話番号 03-3332-3334

代表者氏名 加藤 正樹

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	加藤 正樹	福祉	H0601051
	②	中野 航太	経営	H2001058
	③	伊瀬 卓	福祉	H1801008
	④	倉重 由美子	福祉	H2101004
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	ナーサリースクールいずみ大谷田			
事業所連絡先	〒	120-0001		
	所在地	東京都足立区大谷田1-1-9-101		
	Tel	03-3629-0246		
事業所代表者氏名	小林 まゆみ			
契約日	2022 年 7 月 11 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 1 月 16 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 2 月 22 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 1 月 16 日			
自己評価結果報告日	2023 年 2 月 22 日			
訪問調査日	2023 年 3 月 17 日			
評価合議日	2023 年 3 月 20 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いたわかりやすい資料を作成し、丁寧に説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によりわかりやすく報告しました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- ☒ ① 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ☐ ② 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ☐ ③ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023 年 3 月 31 日

事業者代表者氏名

い・不 まゆみ



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 【学園事業理念】成長に合わせた教育を施し、保護者・地域と協力して、社会に貢献する人物を育てる 【運営方針1 子供の利益の優先】基本的人権を尊重し、子供一人ひとりの人格形成と幸福の実現に資する保育に取り組む。 【運営方針2 子育て環境の充実】子供一人ひとりが伸びやかに成長できるように、子育て環境の充実を図る。地域の教育の中核を担う施設として、親が親として育ち、親・子ども・保育者が相互に育ちあう仕組みづくりを先導する。 【運営方針3 科学的根拠に基づいた教育の実践】先人達の教育成果ならびに大脳生理学、教育経済学などの研究成果を重視し、科学的根拠（エビデンス）に基づいた保育を実践する。 【運営方針4 職員の幸福追求】本学園に勤務する職員一人ひとりが自己実現を達成できる場を構築する。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1) 職員に求めている人材像や役割 【いずみの先生】（職員行動指針） ・明るい笑顔で元気な挨拶をしよう。 ・正しい日本語、美しい所作を身につけよう。 ・子供から学び、成長する喜びを大切にしよう。 ・子供を愛し、褒めて育てよう。 ・常に上を目指し、挑戦し続けよう。 ・お互いを高め合い、チームいずみで協力しよう。 ・今日も一日、面白がって保育に当たろう。
	(2) 職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 【マインド】法人のコーポレートメッセージである「子供の可能性を育む」ことを実現するために、先生としての心構えを持ち、日々成長する意欲を持つ。 【ナレッジ】子供達の健全な成長のために、乳幼児の発達や、保育内容、園のしくみなど業務内容を熟知し、自身の保育や保護者の保育理解の助けとする。 【スキル】先生の価値は保育の質にあるので、子供を惹き付けられる憧れの先生になれるよう保育技術を常に磨く。その方向としては、特技を伸ばすことと、ピアノなど必要性のある技能を伸ばすことの両面を期待する。

調査対象

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答を頂きました。
[調査対象世帯数：81世帯(在園児99名)]

調査方法

園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。

利用者総数

99

利用者家族総数(世帯)

81

共通評価項目による調査対象者数

81

共通評価項目による調査の有効回答者数

68

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

84.0

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」41.2%、「満足」44.1%、「大変満足」と「満足」を合わせて85.3%の回答率となっています。「どちらともいえない」10.3%、「不満」2.9%、「大変不満」0%、無回答が1.5%でした。園のサービスに対する保護者の満足度が高いことが確認されました。個別設問では、問1「園が独自に組み立てている日々の活動や教育等のプログラムは、子どもの心身の発達に役立っていると感じますか？」について「はい」の回答率が94.1%で最も高く、問17「園の対応に不満を感じたとき、役所や第三者委員など園外の機関や窓口に相談できる仕組みがあると説明を受けたことがありますか？」では「はい」の回答率が42.6%と最も低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	64	4	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の94.1%を占め、「どちらともいえない」が5.9%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、教育的なプログラムの内容について満足を示す声が多く寄せられました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	61	7	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の89.7%を占め、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、子どもが園での活動を楽しんでいる様子について満足を示す声が多く寄せられました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	61	5	1	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の89.7%を占め、「どちらともいえない」が7.4%、「いいえ」が1.5%、「無回答＋非該当」は1.5%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	38	20	9	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の55.9%を占め、「どちらともいえない」が29.4%、「いいえ」が13.2%、「無回答＋非該当」は1.5%という結果でした。自由記述では、戸外活動の機会について改善を期待する声が多く寄せられました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	36	10	4	18
この項目では、「はい」と答えた方が全体の52.9%を占め、「どちらともいえない」が14.7%、「いいえ」が5.9%、「無回答＋非該当」は26.5%という結果でした。自由記述では、保育時間変更への柔軟な対応について満足を示す声が多く寄せられました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	47	19	1	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の69.1%を占め、「どちらともいえない」が27.9%、「いいえ」が1.5%、「無回答＋非該当」は1.5%という結果でした。自由記述では、不審者の侵入対策について改善を期待する声が多く寄せられました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	32	22	14	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の47.1%を占め、「どちらともいえない」が32.4%、「いいえ」が20.6%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、行事の日時設定について改善を期待する声が多く寄せられました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	31	28	8	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の45.6%を占め、「どちらともいえない」が41.2%、「いいえ」が11.8%、「無回答＋非該当」は1.5%という結果でした。自由記述では、職員とのコミュニケーションの機会について改善を期待する声が多く寄せられました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	60	6	0	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の88.2%を占め、「どちらともいえない」が8.8%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は2.9%という結果でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	11	3	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の79.4%を占め、「どちらともいえない」が16.2%、「いいえ」が4.4%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、言葉遣いについて改善を期待する声が多く寄せられました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	57	9	0	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の83.8%を占め、「どちらともいえない」が13.2%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は2.9%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	39	21	1	7
この項目では、「はい」と答えた方が全体の57.4%を占め、「どちらともいえない」が30.9%、「いいえ」が1.5%、「無回答＋非該当」は10.3%という結果でした。自由記述では、改善を期待する声が複数寄せられました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	54	14	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の79.4%を占め、「どちらともいえない」が20.6%、「いいえ」が0%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、改善を期待する声が複数寄せられました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	54	10	1	3
この項目では、「はい」と答えた方が全体の79.4%を占め、「どちらともいえない」が14.7%、「いいえ」が1.5%、「無回答＋非該当」は4.4%という結果でした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	58	8	2	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の85.3%を占め、「どちらともいえない」が11.8%、「いいえ」が2.9%、「無回答＋非該当」は0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	36	18	5	9
この項目では、「はい」と答えた方が全体の52.9%を占め、「どちらともいえない」が26.5%、「いいえ」が7.4%、「無回答＋非該当」は13.2%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	29	8	23	8
この項目では、「はい」と答えた方が全体の42.6%を占め、「どちらともいえない」が11.8%、「いいえ」が33.8%、「無回答＋非該当」は11.8%という結果でした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	運営方針や全体的な計画について、入園説明会で保護者に説明しています 園の保育理念を「幼児期に適切な教育を与え、優れた人格を育む」、保育目標を「①感性豊かな子ども、②心の温かい思いやりのある子ども、③自分のことは自分でする子ども、④心身ともに健康で元気な子ども、⑤考えて行動する子ども」と定めています。園のビジョン・理念について、職員の理解を深める取り組みとして、園生活のしおりを年度初めに読み合わせを行っています。保護者に対しては、運営方針や全体的な計画を入園説明会で園生活のしおりをういて説明しています。	
	経営層は保育や教育内容について職員や利用者の理解を深めることに重点を置いています 園長の業務内容は園運営全般で、特に職員に対して、園の保育や教育に関する理解の浸透・利用者に園の取り組みを伝えることに重点を置いています。その役割と責任については役割分担表に記載し、職員会議などで職員に伝えています。また、理事長は園の見学者に対する説明会の際や利用者が行事に参加した際に直接話す機会を持つほか、年1回、職員向けに講話を開いたり、正規職員全員と面談する機会を設けています。	
	重要な案件は本部会議で検討し、アプリや書面を通じて保護者や関係者に周知しています 関係者に対して周知した重要な案件の例として、「園舎の大規模改修」などがあります。そのような事例については、法人本部会議で検討し、書面やホームページを通じて周知しました。また、保護者に対して周知したサービス変更などの例として、「運動会の開催方法の変更(保護者の参加人数の緩和)」などがあります。そのような事例については行事打ち合わせで検討し、保育アプリで周知しました。地域住民に対して周知した事例として、「運動会の開催」などがあります。そのような事例については、職員会議で検討し、地域の掲示板で周知しました。	

カテゴリ2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ2の講評		
連絡帳やアンケートなどを通じて、利用者のニーズを定期的に把握しています 利用者のニーズは、送迎時のやり取りや連絡帳、保育参観時に実施するアンケートなどにより把握し、職員会議で職員に伝えています。具体的な取り組みの例として「子どもの呼び方」などが挙げられます。なお、アンケートで集計した内容については、園だよりを通じて利用者にフィードバックをしています。また、職員のニーズは個人面談などにより把握し、地域の福祉のニーズについては私立園長会で把握し、職員会議で職員に伝えています。 事故、怪我に対する対策の徹底や園児の獲得を重点課題として捉えています 福祉事業全体の動向を把握するため、東京都民間保育園協会、区の私立保育園連合会などの保育ネットワークに参加しているほか、業界誌などを購読しています。園の予算と実績は理事長や理事が管理し、理事長が講話の中で職員に伝えています。以上のように事業環境を分析した結果、「事故、怪我の発生に対する対策の徹底」や、「園児の獲得」を優先度が高い課題として捉えています。 事業計画は園長を中心に作成し、計画の進捗は職員会議で確認しています 中・長期の取り組みについて、中期(3年)、長期(5年)を単位とした計画を立てています。中・長期の計画は園長を中心に作成しています。また、単年度の計画についても前年度3月に園長を中心に作成し、年度初めの職員会議で職員へ伝えています。計画の進捗状況は職員会議で職員へ伝えています。計画を見直す場合は、園長・主任が中心となって判断しています。		

カテゴリ3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

コンプライアンスについて、ルールやマナーを職員で読み合わせし、理解を深めています

法人職員または保育職員として守るべき法や規則について、「就業規則・職員の共有する常識(ルール・マナー)」を整備しています。関係書類は事務室内キャビネットに保管するとともに、「職員の共有する常識」の読み合わせを年度初めに実施し、職員の理解を深めています。なお、理解の不足が必要が認められた際は、主任や園長による面談などにより個別に支援しています。

虐待の疑いがある際は区のガイドラインに基づき、発達支援センターと連携し対応します

苦情があった際には主任が受け付けし、園長が解決にあたっています。そのような体制や役割について、重要事項説明書や園生活のしおりで、保護者に伝えています。意見や要望については、苦情対応マニュアルに沿って対応し、口頭や園だよりなどで回答しています。職員の子どもに対する適切な関わり方について「職員の共有する常識」に示しています。虐待が疑われる事例が生じた際には、区の「教育・保育の質ガイドライン」に沿って、発達支援センターなどと連携し対応しています。

子育て支援事業の実施や幼保小連絡会議に参加し、地域貢献に取り組んでいます

ボランティアなどを受け入れる際は実習生受け入れマニュアルに沿って、園長・主任が対応しています。ボランティアには、保育補助などの活動機会を用意しています。地域貢献の取り組みとして、子育て支援事業「おはなし会・園庭で遊ぼう・園庭開放」などを実施しています(現在は感染症の影響により中止)。実施にあたっては園や区のホームページのほか、門扉に掲示して周知をしています。また、地域の一員として、幼保小連絡会議などに参画しています。そのほか、小学校との交流として、教師に5歳児の様子を直接見てもらう機会を持っています。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
事故などが発生した際はヒヤリハットや事故報告書に記録し、再発防止を図っています 運営に係るリスクとして、「園児の獲得」、「職員の確保」などを優先順位の高いリスクとして挙げ、各リスクに対して「ホームページの充実」、「近隣地域へチラシを使った周知」、「採用活動の強化」、「待遇改善」などに取り組んでいます。事故・感染症・侵入・災害などが発生した際は、事故報告書・ヒヤリハット・日誌などに記録しています。その上で発生要因を昼礼や職員会議で分析するとともに、再発防止策を保育アプリや園だよりなどにより利用者に報告しています。 地震・風水害・感染症を想定した事業継続計画を策定し、職員や利用者に周知しています 災害や深刻な事故などに遭遇した場合に備え、首都直下型地震・風水害・感染症(パンデミック)を想定した事業継続計画(BCP)を作成しています。復旧期間を2週間から1カ月と定め、3日間程度の防災備蓄品を備えています。危機管理の方法やBCPの内容について、職員会議において職員に伝えるとともに、保護会などにより利用者に説明しています。また、関係機関に対しては、園に隣接した団地管理センターなどに周知しています。 パスワードによるアクセス制限や閲覧制限を設け、適切な情報管理に努めています 情報の収集・利用・保管・廃棄については、守秘義務マニュアルで定めています。その内容については年度初めに読み合わせを実施し、理解を深めています。また、誓約書などを取り交わして情報管理や文書管理の遵守を求めています。個人情報や機密性の高い情報を含む文書は、事務室内の鍵付きキャビネットに保管しています。電子データにはIDとパスワードによるアクセス制限を設けています。そのほか、文書類を閲覧する際には事務室内のみの閲覧、持出禁止とするなどの条件を設けています。一方、機密文書を破棄する際はシュレッダーで処理しています。		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

学校訪問や採用専用ホームページを通じて、新規学卒者の採用を強化しています

職員の採用は運営法人が学校法人として教育力を磨いていることもあり、主に熱意を持った新卒者を採用しています。具体的な取り組みとして学校訪問や就活イベントに参加しているほか、採用専用のホームページを開設しています。職員の育成や将来の人材構成を見据え、園長・理事長による個別面談を年2回実施しています。キャリアパスシートは5階層で設定しており、入職時研修で職員に伝えています。また、キャリアパスシートに記載した新人研修の具体例として新人研修を、リーダー職員研修の具体例としてマネジメント研修を設定しています。

ミュージックステップ研修や姉妹園との交換研修など職員の資質向上に取り組んでいます

研修として、法人内部研修のほか外部研修としてキャリアアップ研修や全職員を対象としたミュージックステップ研修に参加しています。法人内部研修は、担任交替研修や姉妹園との交換研修に加えて、保育の取り組みを確認するビデオ研修なども実施しています。職員一人ひとりの気づきや工夫を活かすために、乳児と幼児クラスに職員が分かれて意見交換する機会を設けています。そのような取り組みの成果として、職員の意見を受けて給食をお弁当箱に盛り付けて園庭で食べる「園庭ランチ」や、区のゴミゼロ運動の一環で園舎の周りのゴミ拾いを実施しています。

成績評価基準書や勤務自己評価表などを用いて、職員の育成と評価を行っています

職員の育成と評価は成績評価基準書や勤務自己評価表を参考にしながら、個別面談(年2回)などにより行い、賞与に反映しています。福利厚生の具体的な内容として、退職金制度・私学共済・住宅借上げ制度・給食費無料などを取り入れています。有給休暇の取得率を高めるために、夏季にアルバイトを採用し、人員体制を厚くするなど工夫しています。職員の定着率を高めるために、固定時間勤務や短時間勤務などを各職員の状況にあわせ、柔軟な働き方ができるように配慮しています。

カテゴリ7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 前年度において、「園児の獲得」を重要課題の一つと掲げていました。そのような課題に対して「広報の強化・入園希望者への保育内容に対する理解の促進」を目標として掲げていました。具体的な取り組みとして、近隣にチラシを配布するとともに、入園説明会を9月～11月に実施し、理事長・理事・園長が保育内容や教育の取り組みについて直接伝える機会を設けました。また、説明会はその後も随時開催するようにしました。取り組みの結果、入園児は多く集まり、おおむね目標を達成することが出来たと自己評価しています。今年度は、子育て支援員の配置、ホームページの充実などを図りながらPRを進めていきたいと考えています。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 園児の獲得を重要課題とし、広報の強化および園の特色に対する理解の促進に取り組んでいます。具体的には、園のホームページでは園の特色を写真を交えながら紹介するとともに、説明会では園の取り組みを理事長や園長が自ら説明しました。今後も、園の保育内容や教育の取り組みの見える化を進めることで、園のPRがより一層図られるものと思われます。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度において、「職員の確保」を重要課題の一つと掲げていました。そのような課題に対して「常勤職員3名採用」を目標として掲げました。そこで、法人本部の人事担当者を増員するとともに、通年で計画を立てました。具体的な取り組みとして就職フェアに年3回出展したほか、学校訪問や学校に求人票を送付しました。そうした取り組みにより、職員を3名採用することができました。今年度は常勤職員6名採用を目標として掲げ、学校訪問の頻度を増やすことや友達紹介制度の活用を進めていきたいと考えています。

目標の設定と取り組み	● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

職員の確保を重要課題として、職員採用の強化に取り組んでいます。採用を担う人事担当者の増員、就職フェアや学校訪問、求人票の送付など、さまざまな手段を使って採用を進めたことで、目標を達成することが出来ました。今後は、職員の採用強化に取り組むとともに、職員の定着に向けて、福利厚生の実施などに取り組んでいくことが期待されます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリ1の講評			
園生活のしおりやホームページを通じて、園の方針や保育内容などを紹介しています 園の情報を提供する媒体として、法人が発行する園生活のしおりに理事長挨拶・保育理念・保育目標・特色などの内容を紹介するとともに、園が独自に作成しているパンフレットには、メディアに掲載された教育成果の内容・具体的な保育内容・一日の流れ・年間行事などを紹介しています。また、ホームページには園の紹介・保育内容・ブログなどのコンテンツを設け、頻繁に更新し、適時に情報が見られるようにしています。利用希望者の多様なニーズに対応し、園生活のしおりにDVDを添付するなど、よりわかりやすく情報提供しています。 区のホームページやリーフレットの配布などにより、園の情報を発信しています 園の情報は区の保育課へ提供し、区のホームページにも必要な情報が掲載されています。その中には、保育内容や施設の特色、また園からのメッセージも記載されています。さらに、法人内の姉妹園などにもパンフレットを置くなど、園の情報を地域へ発信しています。パンフレットには保育内容を写真入りでわかりやすく紹介しており、さらにプログラムごとの内容やねらいを詳細に説明しています。 入園希望者には見学会を通じて、園のカリキュラムの特徴をアピールしています 入園希望者には必ず園見学に参加してもらい、保育内容の理解を得るようにしています。見学者は主に理事長・園長・主任が対応し、園内を案内しながら子どもたちの成長・発達の様子を説明しています。新年度の入園希望者には9月から11月の指定日に見学会を開催していますが、別途個別にも対応しています。見学者には園の特徴として、充実したカリキュラム・園庭が広いこと・体育の先生が在籍していること・週1回外国人講師による英語のカリキュラムがあること・法人本部にある温水プールが利用できることなどについてアピールしています。			

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園説明会を行い、利用開始の準備について保護者に説明し、同意を得ています 入園が決まった利用者には園生活のしおり・家庭の状況などの資料を用意し、入園説明会にて配布しています。また、入園説明会は2月下旬に開催し、園生活の動画上映や、保育の様子を見学してもらいながら説明を行い、保育内容を分かりやすく伝えています。その際、サービス内容については重要事項説明書・保育利用契約書で、プライバシーの保護については、個人情報取扱説明書で同意確認を得ています。その上で、サービス内容に対する保護者の意向を家庭調査書に記録してもらい把握しています。 子どもの不安やストレスが軽減されるように、慣れ保育期間を設けています サービスの開始にあわせて、保護者から健康記録の用紙に子どものアレルギーや既往歴などの健康面の状態を記入してもらい、職員間で共有しています。さらに、入園前の生活状況について、入園前から遡り2カ月間程度の状況を記入した書類を提出してもらい、一人ひとりの生活状況を把握しています。また、子どもの不安やストレスが軽減されるように、5日を目安に慣れ保育期間を設けています。期間中は、降園の際に子どもの様子を丁寧に説明して、保護者の保育に対する理解や安心を深められるよう配慮しています。 サービスの終了時には必要に応じて子どもの情報を転園先に提供しています 卒園前に退園や転園をする園児には、作品帳をプレゼントしています。転園先には、必要に応じて児童票の写しを提供し、園児の情報を引き継いでいます。			

サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(○○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー3の講評		
子どもの発達や生活状況を記録し、サービスの提供や支援に活かしています 子どもの心身状況や生活状況などを把握するため、0・1・2歳児においては、保育日誌に子ども一人ひとりについての記録欄を設けるとともに、保護者と毎日連絡帳を取り交わしています。また、保育アプリを用いて、発達記録や個別指導計画を作成し管理しています。子どもの個別の保育目標については児童票に記録し、家庭や保護者の個別のニーズや支援方針は、家庭状況票に記録しています。児童票の記入については、2歳児は隔月ごと、3～5歳児は3カ月ごとに集約しながら記録しています。		
全体的な計画や指導計画は環境の変化や子どもの状況に合わせて定期的に見直しています 全体的な計画に基づき、年・月・週を単位とした指導計画を作成しています。個別の指導計画は0・1・2歳児および、個別の支援が必要な場合に作成しています。全体的な計画は入園説明会で、個別の指導計画は年2回の保育参観懇談時に、保護者にわかりやすく説明しています。また、年度末の職員会議にて年間食育計画の見直し、更新を行っています。指導計画の作成にあたって、保護者のニーズを把握するとともに、就学を控えた時期においては読み書きや身の周りの整理整頓のような活動を取り入れるなど、状況に応じて配慮しています。		
定期的な会議や昼礼などを通じて子どもや保護者に関する情報を共有しています 保育目標の達成状況や指導計画の推進状況は、学期ごとの反省会で評価しています。また、職員間で子どもに関する情報を共有するために、月に2回、園長・主任・常勤職員が参加して職員会議を開催しています。加えて、クラス会議を月に2回開催し、主任・保育士が参加しています。そのほか、定期的に給食会議や本部の会議を基にした園長・主任会なども開催しています。日々の子どもや保護者の状況については、毎日昼礼を行っており、内容はタブレットに入力し、職員はタブレットを閲覧することで内容の確認をしています。		

サブカテゴリ5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評価 標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている ○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている ○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評価 標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している ○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている ○非該当
サブカテゴリ5の講評	
子どもの羞恥心に配慮しつつ、着替え指導や環境の確保に努めています 個人情報の取り扱いについては入園説明会の際に文書と口頭で説明し、個人情報取扱説明書で保護者の同意確認を得た上で運用しています。メディアの取材や医療機関への受診など、突発的に個人情報を提供する必要が発生した際も、都度同意を得ています。また、子どもの羞恥心に配慮し、着替えをする際には、スクリーンなどで外部から見えないようにした上、全裸にならないようラップタオルを使用するようにしています。さらに、3歳児からは男女に分かれて着替えを行い、プール活動の際はラッシュガードを着用しています。	
子どもの人権に関してマニュアルを整備するとともに、研修を実施し理解を深めています 園では子ども一人ひとりを尊重する姿勢を、「子どもの人権を否定をする言葉集」に示すとともに、入職時や年度初めの人権研修に参加し、学びを深めています。また、職員室に人権関連の資料を準備して職員へ自発的な学びを促しています。その一つに、子どもの名前は愛称でなく「〇ちゃん、〇君」と呼ぶように徹底しています。子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮するために、保育参観時のアンケートにより、保護者の意向を確認しています。さらに、宗教観や文化に配慮し、除去食や代替食を提供しています。	
虐待防止に向けてチェックリストを活用し、職員自らの行動を振り返っています 虐待や育児困難家庭などの事案については、虐待防止マニュアルに則って対応しています。虐待防止及び適切な対応に備え、職員は、年度初めに虐待防止マニュアルの読み合わせを行っています。さらに、区や専門機関が主催する虐待防止研修に参加し学びを深めています。また、セルフチェックにより職員自らの行動を振り返ることを促しています。そのほか、虐待に関するニュースなどが報道された際は、新聞記事やネットニュースを閲覧することで情報を共有し、虐待防止の意識を高めています。	

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		☐ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		☐ 非該当
サブカテゴリ6の講評			
法人マニュアルの活用に加え園独自のマニュアルを作成し業務の標準化を図っています 業務の標準化を図るため、法人として「運営の手引き・保育マニュアル・健康管理マニュアル」を整備するとともに、園で独自に、「お散歩マニュアル」などのマニュアルを作成しています。業務の実施状況は、主任や園長が確認しています。あわせて、年2回、法人本部による内部監査を実施しています。さらに、職員には保育マニュアルやカリキュラムマニュアルを配布し、職員会議や研修反省会の中で確認し、マニュアルに対する理解を深めています。 運営法人・職員・保護者それぞれの意見を取り入れ、業務水準の向上を図っています サービスの質の向上を図るために、手順やマニュアルは随時見直しを図り、職員間で共有しています。例えば、サービスの基本事項や手順について、「園長が朝の出迎えをする」「園だより以外に事務所だよりを発行し、毎日1クラスずつ保育の様子を配信する」「ベビーカー置き場の設置」などの視点で見直しを図りました。また、カリキュラムマニュアルや保育マニュアルについても見直しを行い、「朝夕保育の場所」や「送迎時の保護者対応場所」を変更しました。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている				
評点(○○○○○○)				
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している			○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○非該当
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			○非該当
評価項目1の講評				
子どもが主体的に活動できるような遊びのコーナーや絵本コーナーを設定しています 活動は園の教育メソッド・カリキュラムが中心ですが、活動後は子どもが主体的に活動できるように、その都度プレイマットにブロック・ままごと・制作などのコーナーを設定しています。また、保育室内や2階の絵本コーナーなどで好きな本を読んだり、自由に活動できるようにしています。さらに、いつでも自由に使える玩具棚などを設置し、子どもが玩具や教材を自ら選択して使えるようにしています。戸外活動では隣接した団地の敷地へ散歩に出かけて遊ぶほか、区のゴミゼロ運動に参加して周辺のゴミ拾いを行う活動もしています。 英語プログラムやハロウィンなどの行事を通して、異文化にふれる機会を設けています 子どもが互いを尊重する心を育むため、3・4・5歳児クラスにおいて、縦割り保育を行っています。全学年では定期的に異年齢交流を行っており、月に1回程度は異年齢の組み合わせで一緒に散歩に出かけています。また、夕方保育の遊びなどを通して自然に異年齢で関わり、年上の子どものが年下の子どもの遊びや生活の手伝いをしています。一方、海外の文化に親しむことが出来るように、外国人講師による英語指導を行うとともに、ハロウィンなどの行事を取り入れています。 配慮が必要な子どもを受け入れる際は、専門機関と連携しながら対応をしています 特別な配慮が必要な子どもを受け入れる際には専任の職員を配置するほか、児童発達支援センターなどの専門機関と連携し、心理士や理学療法士の助言を受けながら適正な指導を行っています。怪我や事故については予防に努めていますが、万が一怪我や事故が発生した際は事故報告書を作成し、昼礼で職員間の共有を図るとともに職員会議において再発防止策を検討しています。就学支援としては、学校体験授業や給食体験に参加するなど、小学校と連携した取り組みを行っています。また、保護者に向けて区内小学校の情報を適時に提供しています。				

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

保育アプリ・おたより・ブログなどを活用し、保護者と子どもの様子を共有しています

毎日登園時に子どもの様子や体温などを保護者に確認し、必要な情報を保育日誌に記録し、職員間で引き継いでいます。また、0・1・2歳児では連絡帳を毎日取り交わすことで、より細かく子どもの心身の状況を把握しています。一方で、降園時には保護者へ子どもの様子を伝えるほか、保育アプリを用いて各クラスの活動の様子を写真とともに配信しています。さらに、日替わりで子どもたちの様子を園のブログや「事務所だより」で配信するなど、工夫しています。

基本的な生活習慣を身につけることができるよう、具体的な指導方法を設定しています

子どもの発達段階に応じた支援の方法を発達段階や学年ごとの生活表などに示し、それに合わせて適時に支援をしています。具体的な取り組みとして、食事指導では乳児は食具の持ち方に取り組み、幼児は三角食べに取り組みんでいます。好き嫌いなく食べられるように適切な介助を行いながら、食事のマナーも身につくようにしています。排泄指導は1歳児から便座に座ることから始め、積極的に取り組んでいます。歯磨き指導は、喫食後のブクブクうがいを実行しています。着替え指導は、脱いだ服を畳む、表に返すことから始めています。

就学に向けて4歳児より午睡をなくしています

乳児の午睡時間は12時～14時45分をめやすとし、幼児の午睡時間は13時～14時30分をめやすとして設定しています。午睡の際は、コットやタオルケットなどの寝具を使用しています。なお、午睡時間に眠れない子がいた場合は、保育室などでゆったりと過ごせるよう配慮しています。また、就学に向けて、4歳児から午睡をなくしています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

リトミック・歌・楽器演奏などを通じて、さまざまな表現を楽しめるようにしています

子どもの集団活動として、園の特色でもあるミュージックステップ・国語教育・英会話・体育指導を実施しています。中でもミュージックステップは園独自のプログラムであり、リトミック・歌唱・楽器演奏を通して子どもたちが自主性や集中力を養い、積極的に表現活動ができるような環境を整えています。英会話はネイティブの講師により英語に親しんでいます。体育指導は専任の先生により、0～5歳児までの一貫したプログラムを基に体力づくりや集団遊びを行い、幼児クラスでは鉄棒・マット・縄跳びなど、目標を持って楽しく取り組んでいます。

瞑想や立腰の活動などを取り入れ、意欲や集中力などを身につけています

国語教育に取り組み、語彙力・思考力・正しい言葉を身に付け、情操豊かな心を育てています。中でも名文の朗読では、言葉のリズムや響きを楽しんでいます。また、音楽的な表現力を育む機会として、ミュージックステップのほかに、月の歌や手遊びなども取り入れています。さらに、絵画的な表現力を育む機会として、感覚遊び・マッピング・ちぎり絵などの活動を行っています。加えて、子どもが自分の気持ちを調整できる力を身に付けることができるよう、瞑想や立腰の活動なども取り入れ、意欲・集中力などを身につけています。

散歩や園庭での戸外活動を通して、自然にふれたり体を動かしたりして遊んでいます

園庭では、複合遊具・ボール遊び・砂場遊びなどの活動を行っています。また、園庭の花壇に季節の花を植え、四季折々の植物にふれています。加えて、近隣の畑で小松菜の収穫体験をしています。さらに週に2回程散歩に出ており、八百免公園・中川公園・夢公園などを訪れて季節の自然に触れています。秋には落ち葉拾いを楽しんだり、どんぐりをつかった制作に取り組んだりして秋の製作展示会を開催しました。さらに、園庭で秋刀魚を焼き、秋の味覚を楽しむ活動も取り入れました。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

子どもが興味や関心を持ち、心に残るような行事内容を考えて取り組んでいます

子どもの成長や保育の成果を発表する機会として、運動会・クリスマス発表会・ジョイントコンサートなどを開催しています。また、季節や文化・伝承に親しむ機会として、七夕祭り・夕涼み会・ハロウィンパーティ・お餅つき・お正月を楽しむ会・節分などを開催しています。そのほか、バス遠足で都外の水族館に行き、イルカショーを楽しむ機会も設けています。そのほか、行事への興味や関心を高めるため、会を始める際に行事の由来を伝えとともに、行事の振り返りとして思い出の絵を描いたり、発表したりする場を設けています。

年間行事予定表を早めに配布し、保護者の理解や協力を得られるよう配慮しています

行事の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るために、年間行事予定表を在園児には3月に配布し、新入園児には4月に配布しています。保護者が参加・見学できる行事として、七夕祭り・運動会・クリスマス発表会・ジョイントコンサートがあり、保護者が参加しない活動についても写真の販売・ブログなどによりその様子を伝えていきます。また、行事ごとの目的を園だよりや行事のご案内にて伝えています。なお、年に3回設定している保育参観などの行事については、終了後にアンケートを実施して保護者の声に耳を傾けています。

毎月さまざまなプログラムでお誕生会を行い、園全体で誕生児のお祝いをしています

子どもの誕生日を園全体のお誕生会にてお祝いし、誕生児への個別のインタビュー・歌のプレゼント・職員の出し物などのプログラムで楽しめるようにしています。中でも職員の出し物は、劇・クイズ・ジャグリング・音楽会・パネルシアターなど多岐にわたり、子どもたちも毎月楽しみにしています。さらに、誕生児には写真・手形・メッセージが入ったカードを園からのプレゼントとして渡しています。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

子どもが落ち着いて過ごせるよう、コーナーや職員体制を整えています

子どもが安心して過ごせるようにプレイマットコーナーを用意するほか、一人になって心身を落ち着ける必要がある場合は、職員室内の子どもコーナーでゆっくりと過ごせるようにしています。また、非常勤職員を多く配置することで、ゆとりのある職員体制を整えています。

延長保育では専任の職員を配置し、安心して過ごせるようにしています

18時30分～20時を延長保育時間として設定し、それに合わせて、17時45分から1歳児室にて合同保育を行っています。その際は、パズルやかるたなどのほか、落ち着いて遊べるような玩具を用意しています。さらに、延長保育担当の非常勤職員を配置し、ゆとりを持って関わられるよう配慮をしています。補食を提供する際には、家庭での夕食に支障が出ないよう配慮しています。なお、0・1歳児の延長保育は子どもの健やかな発達を目指す観点から、園と保護者との話し合いのもと受け入れを行っています。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

弁当箱に盛り付けた給食を園庭で食べるなど、楽しい雰囲気の中で食べる機会を設けています

食事は各保育室において、3～4人ずつのグループに分かれて席につき、楽しく食事ができるようにしています。その際、音楽を流したり、職員が子どもに寄り添い食事介助をしたり、落ち着いた環境を整えています。一方、行事の際にはテーブルの配置を変えて、いつもと違う雰囲気の中で楽しく食べられるようにしています。また、給食をお弁当箱に盛り付けて園庭で食べる「園庭ランチ」の機会を設けています。

厳選した食材を取り入れた和食中心の献立を基に食事を提供しています

給食やおやつは和食メニューが中心で、出汁は国産の昆布・椎茸・煮干しから取り、食材も安全なものを使用しています。また、食器は耐熱ガラスの食器を用いて提供しています。さらに、節分の日には鬼の形に盛り付けをしたり、卒園時にはお祝い御膳を提供したりするなど工夫しています。食物アレルギーのある子どもについてはマニュアルに沿って、除去食の提供をしています。その際他児から距離を置いて一人席にし、配膳時は色違いの食器や名前付きのトレーを使用し、ダブルチェックを行うなど誤食の防止に取り組んでいます。

調理体験や味噌づくりなど、楽しみながら食に関心を持てるように取り組んでいます

食育活動は0歳児から行い、食材の形などを知ることから始めています。実際の調理体験としては3歳児のラップおにぎりからスタートし、5歳児になると秋刀魚の骨の取り方について学んだり、味噌づくりなども行ったりしています。また、近隣の畑で収穫した小松菜をお浸しなどにして食べています。さらに、食事の前にはメニューの紹介を行い、食文化や栄養に関する知識と関心を深めています。給食は委託していますが、栄養士や調理師は、園の提案を取り入れるとともに保育士と連携して食事の提供や食育活動を行っています。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自身の安全や健康について意識できるよう、定期的な訓練や指導を行っています

園では毎月、火災や水害を想定した防災・避難訓練を実施しています。また、警察署の協力の下、不審者対応訓練を計画しています。さらに、看護師による手洗いやうがいなどの健康指導を行い、子どもが自らの身体や健康に関心を持てるような取り組みをしています。加えて、区の歯科衛生士が考案した6歳臼歯を守る「6ちゃん」の取り組みを行っています。さらに、子どもの自身の安全に対する意識を高めるために、園内の危険箇所を確認する機会を持ち、事故や怪我の防止につなげています。

子どもの健康状態を把握するため、嘱託医と連携して、定期的に健診を実施しています

子どもの健康状態を把握するため、内科医による健康診断を年に2回実施しています。また、歯科医による歯科検診は年に1回実施しています。与薬は基本的に行っていませんが、熱性けいれんや食物アレルギーがある子どもの場合は、与薬指示書の提出とともに薬を預かっています。医療的ケアを必要とする子どもについてはかかりつけ医と連携しながら受け入れています。

看護師と保育士が連携し、子どもの病気や怪我の予防に努めています

子どもの健康維持に取り組むために、月に1回保健だよりを発行し、季節に応じた健康管理などの内容を保護者に伝えています。また、看護師が保護者会や入園説明会に出席し、年間保健計画やSIDS対策について話をしています。感染症が発生した場合は、一斉メールにより保護者に情報提供しています。SIDS対策として、看護師による視診を行いながら午睡時の子どもの健康状態を確認し、午睡チェック表に記録しています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の日常的なサービスに係る意向は行事アンケートや個別面談の中で把握しています

一人ひとりの保護者の子育てや就労等の事情に配慮して支援を行うため、就労証明や個別面談により、就労状況や子育てに関する保護者の価値観を把握しています。また、保育参観時に実施するアンケートなどにより、日常的なサービスに係る保護者の意向を確認しています。職員は保護者対応の方法について、電話対応などの研修を実施し、理解を深めています。

卒園対策委員会や保育参観時の懇談会を通して、保護者同士の交流を図っています

園では5歳児の保護者による卒園対策委員会を組織化し、卒園アルバム制作を通して保護者同士が交流できる場を設けています。その中で園は写真業者との交渉を主に行うなど、卒園対策委員会の支援をしています。また、保育参観の際には、保護者同士の交流が図れるよう、参観後に懇親の時間を設けています。なお、各会の開催に際して、やむなく欠席した保護者には、書類の配布をしたり、話し合いの様子を直接伝えたりして、内容の共有ができるように配慮しています。

子どもの発達や育児について情報提供し安心して子育てができるような支援をしています

園では保護者の子育てについて、より理解を深めるために、保護者会などで話し合いの場を持っています。その中では睡眠時間や読み聞かせなど、年齢にあわせたテーマで意見を交換しています。また、折にふれて、「幼少期に大切にしたいこと・食へのこだわり・脳の発達について・よい子に育てるための親の基礎力」などのテーマで保護者支援や養育力の向上に取り組んでいます。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

子どもが地域の人との交流ができるような、小学校や姉妹園との交流を検討しています

団地内に設営されている立地を活かし、近隣住民に向けて、園の七夕祭りなどの行事への参加を呼びかけています。七夕祭りでは、子どもたちが地域の人と一緒にスタンプラリーなどを体験するほかに、盆踊りを踊ることで交流を深めています。また、団地内の高齢者サロンの利用者とけん玉をして一緒に楽しむ機会なども設けたり、防災訓練の一環として、消防車の見学をさせてもらったりしています(感染症の影響によりそれぞれ未実施)。そのほか、小学校主催の学校訪問や給食体験会への参加や姉妹園との交流を検討しています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	法人内部研修・キャリアアップ・専門研修を通じて職員の育成支援を充実させています	
内容①	研修として、法人内部研修のほか外部研修としてキャリアアップ研修や全職員を対象としたミュージックステップ研修に参加しています。法人内部研修は、担任交替研修や姉妹園との交換研修に加えて、保育の取り組みを確認するビデオ研修なども実施しています。また、福利厚生具体的な内容として、退職金制度・私学共済・住宅借上げ制度・給食費無料などを取り入れるとともに、有給休暇の取得率を高めるために、夏季にアルバイトを採用し、人員体制を厚くするなど工夫しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	子どもが興味や関心を持ち、心に残るような行事内容を考えて取り組んでいます	
内容②	子どもの成長や保育の成果を発表する機会として、運動会・クリスマス発表会・ジョイントコンサートなどを開催しています。また、季節や文化・伝承に親しむ機会として、七夕祭り・夕涼み会・ハロウィンパーティ・お餅つき・お正月を楽しむ会・節分などを開催しています。運動会では、子どもたちによる組体操や大玉転がしなどを行い、一緒に参加した保護者にも好評でした。そのほか、バス遠足で都外の水族館に行き、イルカショーを楽しんだり、給食をお弁当箱に盛り付けて園庭で食べる「園庭ランチ」を実施したりしています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保育アプリに加えて、ブログや事務所だよりを通じて活動の様子を詳しく伝えています	
内容③	保育アプリを活用し、各クラスの活動の様子を写真を入れて配信するとともに、園のブログや事務所だよりでも定期的に配信しています。また、保護者が参加・見学できる行事として、七夕祭り・運動会・クリスマス発表会・ジョイントコンサートがあり、保護者が参加しない活動についても写真の販売・ブログなどによりその様子を伝えています。加えて、「幼少期に大切にしたいこと・食へのこだわり・脳の発達について・よい子に育てるための親の基礎力」などのテーマで保護者支援や養育力の向上に取り組んでいます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	法人独自の教育プログラムを通じて、子ども一人ひとりの状態に合わせた指導を行うとともに、子どもの主体性を育んでいます
2	内容	法人独自の教育プログラムでもある、「ミュージックステップ・国語教育・立腰教育」など、乳幼児期の脳の発達段階に即した「いずみの適時教育」を実践することで、子どもの主体性を引き出すことを重視しています。各プログラムでは、判断力・集中力・協調性・積極性などを育て、子どもが楽しみながら集団の中で育つように支援しています。また、さまざまな活動を行う上で常に子どもたちに選択肢を用意し、職員が答えを教えるのではなく、子どもたちが自ら考えられるような問いかけを中心とした保育を行っています。
3	タイトル	安全・安心な食事の提供を行うとともに、野菜の栽培や調理体験など、さまざまな方法で食の楽しさを伝えています
4	内容	昼食の献立は和食が中心で提供しています。出汁は国産の昆布・椎茸・煮干しから取り、食材も安全なものを使用しています。また、節分の日には鬼の形に盛り付けをしたり、卒園時にはお祝い御膳を提供したりするなど工夫しています。そのほか、食育の一環として、調理体験として3歳児ではラップおにぎりをしたり、5歳児では秋刀魚の骨の取り方について学んだりしています。そのほかにも、味噌づくりや近隣の畑で小松菜の収穫体験をするなど、さまざまな方法で食の楽しさを伝えています。
5	タイトル	園の増改築により広がった園庭を有効活用し、運動会や園庭ランチを実施するなど、子どもたちの活動の幅を広げています
6	内容	園舎の増改築を行ったことで園庭が広くなり、普段の園生活や行事などで幅広く活用をしています。園庭には複合遊具や砂場などが設置されているほか、花壇には季節の花が植えられており、四季折々の植物にふれることができます。また、秋には保護者参加のもと運動会を開催し、子どもたちによる組体操や大玉転がしなどを行いました。さらに、秋刀魚を焼き、秋の味覚を楽しんだり、給食をお弁当箱に盛り付けて園庭で食べる「園庭ランチ」を実施したりするなど、子どもたちの活動の幅を広げています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	行事や保育参観などの実施にあたり、保護者が参加しやすい日時を設定するなど、保護者への配慮をより一層図っていくことが望めます
2	内容	保護者が参加・見学できる行事として、七夕祭り・運動会・クリスマス発表会・ジョイントコンサートがあり、保護者が参加しない活動についても写真の販売・ブログなどによりその様子を伝えています。一方で、今回の利用者調査における「行事や参観などの活動に対する保護者への配慮」の問いに対する「はい」の回答割合は47.1%でした。行事や保育参観などの実施にあたり、保護者が参加しやすい日時を設定するなど、保護者への配慮をより一層図っていくことが望めます。
3	タイトル	中堅職員の育成に向けて姉妹園との交流研修を設けるほか、事務作業に専念できる環境を整えるなど、職員を支援する方針を打ち出しています
4	内容	職員の定着率を高めるために、福利厚生具体的な内容として、退職金制度・私学共済・住宅借上げ制度・給食費無料などを取り入れています。また、固定時間勤務や短時間勤務など、柔軟な働き方ができるようにしています。一方で、中堅職員の育成と職員の負担軽減に向けた新たな取り組みが必要だと考えています。今後は、中堅職員の育成に向けて姉妹園との交流研修や意見交換をする機会を設けるとともに、日中の時間帯に事務作業に専念できる環境を整えるなど、職員を支援する方針を打ち出しています。
5	タイトル	中・長期計画の策定の内容について職員の理解を深めることで、目標の達成に寄与できるものと思われれます
6	内容	中・長期の取り組みについて、中期(3年)、長期(5年)を単位とした計画を立てています。中・長期の計画は園長を中心に作成しています。また、単年度の計画についても前年度3月に園長を中心に作成し、年度初めの職員会議で職員へ伝えています。一方で、今回の職員自己評価では「事業所を取り巻く課題の抽出・計画の策定・計画の着実な実行」の各設問では、一般職員において「そう思う」の回答割合が低い傾向にあり、今後中・長期計画の内容について理解を深めることで、目標の達成に寄与できるものと思われれます。